

第45回衆議院議員選挙

スズキ労連推薦立候補予定者の紹介

近づきつつある天下分け目の第45回衆議院議員選挙。スズキ労連は連合の推薦を受け、かつ私達の運動方針に理解を示し、私達の代表として政治諸課題に取り組む次の立候補予定者を推薦し、今後の支援活動を取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

静岡県区(2区~8区)

細野 豪志
(ほその ごうし)
静岡県第5区/民主党
現職3期
1971年生まれ

津川 祥吾
(つがわ しょうご)
静岡県第2区/民主党
前職
1972年生まれ

渡辺 周
(わたなべ しゅう)
静岡県第6区/民主党
現職4期
1961年生まれ

小山 展弘
(こやま のぶひろ)
静岡県第3区/民主党
新人
1975年生まれ

斉木 武志
(さいき たけし)
静岡県第7区/民主党
新人
1974年生まれ

田村 謙治
(たむら けんじ)
静岡県第4区/民主党
現職2期
1968年生まれ

斉藤 進
(さいとう すずむ)
静岡県第8区/民主党
新人
1970年生まれ

静岡県衆議院小選挙区

詳しくは県選挙管理委員会ホームページなどで確認して下さい。

愛知県区

古本 伸一郎
(ふるもと しんいちろう)
愛知県第11区/民主党
現職2期
1965年生まれ

鈴木 克昌
(すずき かつまさ)
愛知県第14区/民主党
現職2期
1943年生まれ

森本 かずよし
(もりもと かずよし)
愛知県第15区/民主党
新人
1966年生まれ



各加盟単組定期大会開催日

◎遠州精工労働組合	第2回定期大会	10月4日(土)
◎スズキ販売労働組合	第3回定期大会	10月18日(土)
◎ベルソニカ労働組合	第48回定期大会	10月18日(土)
◎小楠金属・熱処理労働組合	第27回定期大会	10月24日(金)
◎スズキ部品富士労働組合	第21回定期大会	10月25日(土)
◎スズキ精密工業労働組合	第44回定期大会	10月26日(日)
◎平岡ボデー労働組合	第47回定期大会	10月26日(日)
◎スズキ部品浜松労働組合	第41回定期大会	10月26日(日)
◎スズキ輸送梱包労働組合	第40回定期大会	10月26日(日)
◎スズキ部品秋田労働組合	第36回定期大会	10月26日(日)
◎スニック労働組合	第29回定期大会	10月26日(日)
◎浜松パイプ労働組合	第5回定期大会	11月2日(日)
◎エステック労働組合	第24回定期大会	11月2日(日)
◎岐阜スズキ労働組合	第4回定期大会	11月13日(木)
◎スズキ新潟販売労働組合	第6回定期大会	11月18日(火)

スズキ労連 今後の主な予定

- 【11月】
8日(土) ナイスハート
ふれあいのスポーツ広場
(掛川市:東遠カルチャーパーク)
20日(木) スズキ労連 政策研修会
(スズキ労働会館:大会議室)



各種優待契約施設の割引券は労連ホームページの
Topページよりプリントアウトできます。
パスワード:saw2007

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望が ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20(スズキ労働会館内)
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail:mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関紙
閲覧パスワード…saw2007

【編集後記】また新しい期がスタートです。労連の顔ぶれもガラッと変わりましたが
私は3期目、初心者顔できなくなっていました…(=ii=) (次長2)

2008年10月 第317号



スズキ労連

2008年
定期大会特集号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079

スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤 幸博
編集人 光田 玄

第37回定期大会開催 “第37・38期の運動方針を決定”



写真上/代議員115名、傍聴者58名が参加。冒頭、加藤会長より執行部代表の挨拶。
写真右/議長団 左:紅林光男(スズキ湖西支部)右:鈴木 祥司(浜松パイプ)

スズキ労連は9月14日(日)、浜松プレスタワー静岡新聞ホールにおいて代議員115名、傍聴者58名の参加のもと、第37回定期大会を開催いたしました。大会では第37・38期の運動方針を決定するとともに、役員改選も行い、今期より専従会長として継続することとなった加藤会長と根木新事務局長を軸とする新役員体制が決定しました。また、新しい2年間のスローガンが採択され、不透明な情勢が続かなかで、「安心・確かな暮らし」を築き上げるべく、全員が力を合わせて前進することを確認し、力強く活動がスタートいたしました。

【参加者】

代議員 115名、顧問 1名、傍聴者 58名、来賓 6名、執行部 31名、書記 2名

【議件】

- 1) スズキ労連規約改定の件
- 2) スズキ労連会計処理規定改定の件
- 3) 第37・38期運動方針(案)の件
- 4) 第37・38期役員定数・選挙の件
- 5) 第37期予算(案)の件

【報告承認事項】

- 1) 第36期活動経過報告
- 2) 第36期会計決算報告
- 3) 第36期会計監査報告

【各種委員】

- ◎資格審査委員:4名
☆白井 康晴<小楠金属熱処理>
山本 満<部品浜松>
鈴木 保夫<エステック>
黒岩 賢一<スズキ販労>
- ◎議事運営委員:4名
☆池富 彰<スズキ労連中執>
平賀 守<ベルソニカ>
影山 哲也<遠州精工>
阿部 雅弘<スズキ新潟販売>
- ◎選挙管理委員:5名
☆櫻井 昭弘<スズキ中央>
植田 健吾<スズキ輸送梱包>
松橋 賢<スズキ部品秋田>
増井 啓証<スズキ精密工業>
岡本 光<スニック>
- ◎書記:2名
古田 貴裕<岐阜スズキ>
青葉美奈子<スズキ労連>

来賓のごあいさつ

来賓として自動車総連の西原新会長をはじめ、連合静岡 吉岡会長、静岡県労働者福祉協議会 平野会長、自動車総連組織内議員で民主政策調査会長の直嶋正行参議院議員、同じく民主党の池口修次参議院議員、静岡県選挙区の榛葉賀津也参議院議員にご臨席を賜りご祝辞をいただきました。

自動車総連の西原新会長からは販売部門の組織拡大への御礼、新体制での連帯強化が呼び掛けられました。また議員の方々は政局が混乱し、極めて多忙な中でのご臨席でしたが、生活者視点に立った民主党の政策について述べられるとともに、政治を有権者に取り戻すべく、来る衆議院議員選挙での与野党逆転、政権奪取に向けた熱い思いをアピールされました。



自動車総連 会長
西原浩一郎 様



連合静岡 会長
吉岡秀規 様



静岡県労働者福祉協議会 会長
平野哲司 様



直嶋正行 参議院議員



池口修次 参議院議員



榛葉賀津也 参議院議員

2008自動車総連福祉カンパ

牧之原市・奈良県葛城市の 社会福祉施設へ車両を寄贈。

8月号でご紹介した2施設に続き、車両寄贈を実施した奈良県葛城市の「ふれあい作業所」と牧之原市の「こづつみ作業所」をご紹介します。今年の車両寄贈はこの2施設で終わりますが、来年以降もカンパ活動は続きます。引き続きスズキ労連の社会福祉活動に対し、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

社会福祉法人 ふれあい作業所 *小規模通所授産所 (奈良県葛城市北花内347-7)

・寄贈日:8月22日(金)
・寄贈車両:エブリイ
・推薦者:スズキ販勞 自販奈良支部
地元企業の下請けとして事務用品の袋詰めやプラスチック製品の組み立て等を手作業で行なっている施設。保有していた車両が老朽化していたため、寄贈に大変喜んでいただきました。



社会福祉法人 一羊会 牧之原市こづつみ作業所 *知的障害者援護施設 (牧之原市波津1691-1)

・寄贈日:8月26日(火)
・寄贈車両:エブリイワゴン
・推薦者:スズキ労組 相良支部
自動車内線部品の組み立て、転写式による陶器づくり、印刷業務等を行なっている施設。寄贈式では、施設利用者全員による「おれの歌」の合唱で、とても温かみのある演出をしていただきました。



スズキ販勞に 新しい支部

自販新潟支部結成!



○結成大会の様子。(写真左)

○スズキ販勞労働組合 森崎中央執行委員長(左)から淡路支部執行委員長(右)へ支部旗が授与された。(写真右)

9月3日(水)、新潟県・長岡市の「ホテルニューオータニ長岡」にてスズキ販勞労働組合の自販新潟支部結成大会が開催され、あらたに93名の仲間がスズキ労連に加わりました。新潟といえば、すでに労連の仲間であるスズキ新潟販勞組がありますので、直営代理店のスズキ自販新潟にスズキ販勞の支部が結成されたことにより、県内のスズキ代理店2社が労連加盟することとなります。

自販新潟の社員による結成発起人会と準備会が発足してから約半年間、労連との話し合いを重ね、職場への地道な理解活動が実を結び、この日を迎えました。来賓としてスズキ新潟販勞組の渡辺執行委員長も駆けつけ、お祝いのメッセージを述べられました。

RENGO 連合 日本労働組合総連合会

北方四島の一括返還を! 根室平和行動に参加



連合は今年の平和運動強化期間の締めくくりとなる「2008平和行動 in 根室」を9月20~21日に実施し、連合構成組織と全国の地方連合会から約1200人の参加者が集まりました。スズキ労連からは佐藤中執が参加致しました。

21日の「2008平和ノサップ集会」で主催者を代表してあいさつした連合・古賀伸明事務局長は、「ソ連からロシアへと国が変わった今日なお依然として北方四島の不法占拠は続いている。連合は平和と友好を希求する労働組合の立場から、北方領土返還運動に努力していくが、この問題が未解決のまま長期化して元島民が高齢化した今日、国に対しては、外交交渉を通じて、北方領土問題解決への取り組みをこれまで以上に求めていきたい。」と挨拶されました。元島民の高齢化が進む中で、早期の一括返還を実現しなくてはなりません。そのために一人ひとりがこの問題を正しく理解し、世論を盛り上げ、国民の声としてロシア国民に伝えるとともに、スズキ労連としても連合、自動車総連や多くのNGOと連帯し、組織内で運動の輪を広げ、みんなの声を大きくして政府への働きかけを強めていく必要があると考えます。

スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。

フォルテの閉鎖

《田口章後援会だより10月号記事より抜粋》

8月8日、7月に発表された清算スキームに沿って、市の所有する土地と、浜松都市開発(株)の持つ建物を、遠州鉄道(株)に売却する三者契約が締結されました。建物の売却価格は23億200万円。土地は12億5000万円で、いずれも不動産鑑定評価額に沿ったものとなっています。これに伴い、9月議会で、土地の売却収入と、浜松都市開発(株)からの入居保証金などの返還金、他に関する補正予算案が可決されました。私は「フォルテ売却」は「過去の清算」と位置付け、売却に賛成してきました。(売却スキームについては指摘してきましたが…) 第三セクター「浜松都市開発(株)」の清算は、いわば「バブルのツケ」の清算です。役割を終えたものを見直しや、税金のムダづかいをなくすことは、今の政治の喫緊の課題です。「こわす勇氣、つくる情熱」が、やすとも市長の衆議院議員時代のキャッチフレーズでしたが、フォルテの清算は、その言葉どおりの決断ではないでしょうか。今後は、フォルテ経営の反省と課題を踏まえ、第三セクターや外郭団体の運営をチェックしていかねばなりません。これからは議会のチェック能力が問われます。フォルテは9月末をもって閉鎖されました。一部テナントの移転先が決まっておらず、部分的な営業は続くようですが、近く新たなスタートをむかえることとなります。遠州鉄道(株)さんには、「公共性の確保」という命題を負っていただくわけですが、民間活力を最大限に活かした都心再生に期待したいと思います。



「おもしろきこともなき世をおもしろく」
「今より早いときはない」がモットーです。
浜松市議会議員 田口 章

田口議員のマスコット キャラクターが出来ました。

浜松市議会議員1年生「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよく分かります。コメントも書き込めますので、皆様のご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。

労連HPからも
アクセスできます。





【スズキ労連 加藤会長の挨拶】

本日の大会は、今日の現状と課題認識を新たにしながら、今後の運動の方向性を、確認し合う大会です。

<取り巻く経済環境>

世界経済の先行きが、ますます不透明感を増しています。日本経済は、2002年以降、世界経済の拡大と円安基調を背景に旺盛な海外生産や輸出によって景気は回復基調にあるといわれていました。しかし、1年前に表面化したサブ・プライムローンを発端に海外での販売に陰りが見え始め、同時に原油高・株安・ドル安などが企業の収益を圧迫し、景気への停滞感が広がっています。また、90年以降の急速なグローバル化の進展の中で、賃金の抑制や不安定雇用の増加から勤労者の全体の収入が減少し、更にガソリン代や食料品といった生活必需品の値上がりや社会保険料の引き上げなどにより、家計が圧迫され消費意欲も低下傾向にあると認識をしています。

<自動車産業とスズキグループの状況>

こうした状況の中で、私たちが働く自動車産業の2007年度の連結決算は、好調な海外販売を追い風に、売上高・利益の両面で高い実績を残す結果となりました。しかし、2008年度の見通しは、世界の景気の減速や想定以上の原材料の高騰により、各社ともに非常に厳しい見通しとなっています。私たちスズキグループも同様の傾向にあり、2007年度は海外における四輪車の好調な売上げなどにより、連結の売上高は3兆5024億円(前期比110.7%)、営業利益の面でも1494億(前期比112.4%)と、数字の上では順調に推移してきました。しかし、2008年度の見通しは、売上げ・利益ともに微減ながらマイナスの計画であり、いまや売上げの70%以上は海外という状況の中で、今後の世界経済の動向を更に注視していく必要があると感じています。

さて、スズキグループは、ここ数年間インドやハンガリーをはじめ、海外工場の生産能力の増強と新機種の新機種の立ち上げなどを積極的に進めてきました。職場は大変忙しい状況中ではありますが、今後10年先・20年先の安心に向けて、ここを何とか乗り越えなくてはならないという思いと努力の中で、順調に立ち上がってきたと思っています。

そして、国内においても相良の第2工場がこの7月から生産を稼働しました。しかし、相良第二工場は輸出が主体の工場であり、フル稼働(年産24万台規模)に向けては、労働組合としても海外の景気動向によって柔軟な対応が求められてくと捉えています。

また同時に、環境や安全面での技術対応の強化や、国内市場の成熟化の中で国内市場の活性化という重要な課題も山積しています。

こうした環境の中を生き抜いていくためには、スズキ労連で働く全員で引き続き知恵を出し合い、品質の向上や付加価値の高い商品づくりを通じて、グループ全体の総合力を高めていくことが大切です。また、それを成し遂げていくためには人の持つ活力が不可欠であり、働く一人ひとりの仕事に対する高い動機づけや志を育んでいく必要があります。今後もスズキ労連として、加盟組合との連携を更に強化するとともに、労連労使会議や関連各社との意見交換の充実を図りながら、常に底辺にある雇用と生活を守っていくための経営対策活動の強化に向けて活動を進めていきます。

また、人を視点とした活力ある職場づくりに向けて、コミュニケーションを図りながら、元気に推進していきます。

<安全への取り組み>

2008年に入り8月までに、自動車総連内での労働災害による死亡災害が、既に17件発生をしています。その内、7件が正規社員、10件が外部業者や非正規社員です。また、17件の内55歳から59歳の方が4件。60歳から69歳の方が5件あり、実に55歳以上が17件中9件発生をしています。現在、職場では正規社員に限らず、多くの工事業者のみなさんや派遣社員・請負のみなさんが働いています。そして、年金の支給年齢の引き上げにより、高齢で働く方も今後ますます増えていきます。安全については、日々取り組みを進めていますが、職場内が急激に変化している実態をしっかりと把握していかなくてはならないと思います。雇用環境の変化や社会環境の変化の中で、これまでとは異なる安全に対する活動を提言していく必要性を感じますし、高齢者が安全で働く職場の環境づくりに向けても、スピードを上げて労使議論を進めていく必要を感じています。

人と企業を底辺から支えている安全に対して、今一度、「安全なくして企業なし」の観点で、安全に対する認識合わせをお願いいたします。

<仲間を増やす活動について>

この数年間、連合の評価委員会の提言を念頭に置きながら、スズキ労連として何ができるかを考え、そして、その中からスズキグループで働く仲間の一体化と幸せづくりに向かって、強力に仲間を増やす活動を進めてきました。そして、この4年間で、製造2組合、販売で3組合16支部が結成をされ、スズキ労連の仲間も18000名となりました。来期以降の2年間は、まだ労働組合のない部品製造会社や非製造会社も視野に入れながら、まずは走り始めている全国に約60ある関連の販売会社の労働組合結成に全力で取り組み、ひとつの節目としていきたいと考えています。

こうして労働組合が結成されていった時に、大切なことは結成後の運営です。スズキ販売労働組合は全国に数多くの拠点を持つ労働組合になることから、心ひとつに永続的に運動を発展していくためには、労働運動の持つ大きな理念を掲げて進んでいくことが大切であり、今後2年間の中で、その理念と行動指針をつくりあげていくための努力をまいります。

大変な取り組みとなりますが、同じスズキブランドを支える仲間づくりは、スズキグループの健全な発展と働く一人ひとりのやり甲斐や働き甲斐につながるという確信を持って取り組みを進めてまいります。また、60歳以降の再雇用の組合員化に向けても確実に推進をお願いいたします。

<政策制度の改善に向けて>

さて今、政治に目を向ければ、消えた年金問題や後期高齢者医療制度の混乱など、これまでの政府の対応は、国民不在の政治が続いています。そして、首相が二人続けて辞任をするなど、今の政権に日本の国を任せられる状況にはありません。今、総裁候補が話題となっていますが、誰になろうと仕組みの問題であり、政権与党として機能できない状況にあると思います。

この状況を打破するには、私たちが目指す2大政党が切磋琢磨しながら進める強い政治であり、この実現を通じて安心・安定・安全な社会を築いていくことだと思います。今、まさに国も地方も重大な局面を向かえ、政治も私たち労働組合も果たす役割と責任はますます大きくなっています。そのためにも、来るべき衆議院選挙の成功に向けて組織強化の活動を推進していきますのでよろしく願いいたします。

<最後に>

私たちを取り巻く環境はスピードを上げて変化をしています。こうした環境変化に対して、常に的確に対応を図れる強い組織づくりと元気な人づくりを進め、「よりどころとなる労連づくり」に取り組んでまいります。ともにがんばりましょう！

議件 — 報告承認事項

《議 件》

- 1) スズキ労連規約改定の件 提案者…内山副会長 投票にて承認(賛成107票・反対2票)
現状の運用を考慮し、役員の任期を2年間と明記する。

現 行	改 定 案
第5章 役員 第2節 選挙および任期 (任期) 第43条 役員の任期は定期大会より次期定期大会までとする。	第5章 役員 第2節 選挙および任期 (任期) 第43条 役員の任期は2期(2年間)とする。

- 2) スズキ労連会計処理規定改定の件 提案者…秋場副会長 挙手にて承認
予算科目の流用並びに予備費の支出について下記の通り規程の改定を行う。

現 行	改 定 案
第2章 予 算 (予算科目の流用並びに予備費の支出) 第7条 予算科目の流用及び、予備費の支出については、中央委員会の承認を得なければならない。	第2章 予 算 (予算科目の流用並びに予備費の支出) 第7条 予算科目の流用については、中央委員会の承認を得なければならない。ただし、予備費の支出、科目内流用については、中央執行委員会の承認を得て執行することができる。なお、予備費の支出を行った際には、直近の中央委員会にて報告を行うものとする。

- 3) 第37・38期運動方針(案)の件 提案者…古川事務局 挙手にて承認
《運動方針骨子》

1. 安心な生活づくり
 - 1) 労働条件の維持向上
 - 2) 政策制度課題の改善と政治活動への取り組み
2. 魅力ある企業づくり
 - 1) 雇用確保と経営対策活動
 - 2) 労使協議の充実
 - 3) 安全で働きやすい職場環境づくり
3. 労働組合組織の充実
 - 1) 専門活動の推進
 - 2) 組織体制の強化
 - 3) 労連の仲間を増やす活動の推進
 - 4) 女性参画の推進
 - 5) 上外部組織・団体、友誼労組との連携
 - 6) 国際連帯活動の推進
 - 7) 業種別活動の推進

- 4) 第37・38期役員定数・選挙の件 提案者…森崎副会長 挙手にて承認
《第37・38期役員定数》

- ・会長1名・副会長4名・事務局長1名・事務局次長2名(専従)4名(非専従)
- ・中央執行委員16名・上部組織派遣役員1名・会計監査人2名

《第37・38期役員選挙》

- ・選挙区分 全役員
- ・任期 第37期・第38期
- ・選挙運営 選挙管理委員会に委嘱する。

- 5) 第37期予算(案)の件 提案者…佐藤事務局次長 挙手にて承認

質 問	執行部答弁
①スズキ労組 武藤代議員 ・予備費について、議件1で承認された予備費の流用だが、予備費の支出を制限するものがなく、他の科目が足りなくなった場合予備費を使うといったルールがない。ルールを決めて運用した方がよいのでは。 ②スズキ労組 西條代議員 ・ヤングリーダー活動費について、前回の研修会で人数制限された。予算が減っているが研修会回数、参加枠を増やすことが出来る内容になっているのが確認したい。	<応答> ①予備費は執行部で決めを作って管理していきます。予算は定期大会で承認なので無謀な予算になることはありません。 ②昨年は人数を絞ったが、人数を増やすことは可能。他の支部、組合とバランスをとって人数を決めていきます。

《報告承認事項》

- 1) 第36期活動経過報告 報告者…古川事務局長
2) 第36期会計決算報告 報告者…佐藤事務局次長
3) 第36期会計監査報告 報告者…青島会計監査人

拍手にて承認
拍手にて承認
拍手にて承認



内山副会長



秋場副会長



古川事務局長



森崎副会長



佐藤事務局次長



青島会計監査人

ご苦勞様でした

『退任役員功勞表彰』

長きに渡りスズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会を期に退任される役員の方々に対し、そのご功勞に感謝と敬意を込めて表彰をいたしました。

<退任役員・功勞表彰>

氏名：寺岡 一則
役員期間：23期～36期(1994.9～2008.9)
役職：中央執行委員 14年
出身単組：スズキ部品秋田労働組合



お一人おひとりからご挨拶をいただきました。
(写真は寺岡中執)

氏名：谷本 利文
役員期間：27期～36期(1998.9～2008.9)
役職：中央執行委員 10年
出身単組：スズキ労働組合



加藤会長から表彰される
谷本中執(写真左)

氏名：村松 寿明
役員期間：31期～36期(2002.9～2008.9)
役職：中央執行委員 6年
出身単組：スニッケ労働組合

氏名：大石 和彦
役員期間：33期～36期(2004.9～2008.9)
役職：中央執行委員 4年
出身単組：ベルソニカ労働組合

氏名：宮田 進
役員期間：35期～36期(2006.9～2008.9)
役職：中央執行委員 2年
出身単組：遠州精工労働組合



加藤会長を囲んで

氏名：野牧 孝之
役員期間：33期～36期(2004.9～2008.9)
役職：会計監査人 4年
出身単組：小楠金属熱処理労働組合

スズキ労連 第37回定期大会 議事次第

- 開会の挨拶
資格審査の発表
議長団の選出
議長団就任の挨拶
定期大会役員の選出
1) 議事運営委員の選出
2) 選挙管理委員の選出
3) 書記の選出
会長挨拶
来賓の紹介・祝辞
祝電披露
議事日程の発表
報告承認事項
1) 第36期活動経過報告
2) 第36期会計決算報告
3) 第36期会計監査報告
議件
1) スズキ労連規約改定の件
2) スズキ労連会計処理規定改定の件
3) 第37・38期運動方針の件
4) 第37・38期役員定数・選挙の件
第37・38期役員選挙日程の発表
第37・38期役員選挙
議件
5) 第37期予算(案)の件
議事報告
第37・38期役員選挙結果発表
新役員紹介・代表挨拶
退任役員表彰
定期大会 スローガンの採択
定期大会 役員解任
議長団退任の挨拶
がんばろう三唱
閉会の挨拶

第37・38期の新役員体制スタート!



役職	候補者氏名	出身労組	前職
会 長	加藤幸博(現)	スズキ労組	会長
副 会 長	内山寿之(現)	スズキ部品浜松労組	副会長
	秋場和彦(現)	平岡ポデー労組	副会長
	森崎一郎(現)	スズキ販売労組	副会長
	古川正明(新)	スズキ労組	事務局長
事 務 局 長	根本一暢(新)	スズキ労組	中央執行委員
事 務 局 次 長	眞子仁(新)	スズキ精密工業労組	スズキ精密工業労組副執行委員長
	光田玄(現)	スズキ労組	事務局次長
	桑野昇(現)	スズキ労組	事務局次長
	鈴木圭(現)	スズキ労組	事務局次長
	西岡英治(新)	スズキ労組	組織アドバイザー
	鈴木隆文(新)	スズキ労組	組織アドバイザー
中央執行委員	平塚訓孝(現)	スズキ輸送梱包労組	中央執行委員
	佐藤真一(新)	ベルソニカ労組	事務局次長
	菅沼伸好(現)	スズキ精密工業労組	中央執行委員
	嶋田満(新)	スズキ部品秋田労組	スズキ部品秋田労組副執行委員長
	堀順一(新)	スニッケ労組	スニッケ労組副執行委員長
	白井康晴(現)	小楠金属・熱処理労組	中央執行委員
	太田賢司(現)	エステック労組	中央執行委員
	鷲塚三樹(現)	スズキ部品富山労組	中央執行委員
	山本寿(現)	浜松バイブ労組	中央執行委員
	宇野陽二(現)	岐阜スズキ労組	中央執行委員
	坂本幸雄(新)	遠州精工労組	遠州精工労組副執行委員長
池富彰(現)	スズキ労組	中央執行委員	
山本正人(現)	スズキ労組	中央執行委員	
武藤憲司(新)	スズキ労組	スズキ労組中央執行委員	
小杉尚(現)	スズキ労組	中央執行委員	
尾藤慶二郎(新)	スズキ労組		
上部組織派遣役員	春田雄一(現)	スズキ労組	上部組織派遣役員
会 計 監 査 人	青島智久(現)	エステック労組	会計監査人
	嶋津吉宏(新)	浜松バイブ労組	浜松バイブ労組副執行委員長

第37・38期役員選挙結果

一括投票結果

投票総数 111票
有効総数 110票
無効総数 1票
その内白票 0票
信任:108票
不信任:0票



櫻井選挙管理委員長

* 個別投票があったため、個人別の信任数が一括投票の票数より多くなることが報告された。

新役員を迎え、第37期がスタートしたスズキ労連執行部です。組織拡大を主に取り組む事務局次長が2名加わり、総勢31名の大所帯となりました。また加藤会長は継続いたしますが、10年ぶりの専従会長となります。第37回定期大会において決定した運動方針の具体的な取り組みに向け、新役員を中心に労連加盟組合一丸となり活動の前進に全力で傾注していきたいと思います。皆様のご支援・ご協力をお願いします。